

今日の説教のポイント<マタイによる福音書8章14~17節>

①みんなが嫌がり、あるいは見下していた人たちを癒されたイエス様。

聖書の中のイエス様を知れば知るほど、私たちはそのイエス様に魅かれて行きます。今日の箇所もそうです。マタイは、8章の始めからイエス様のいやしの奇跡を3つ続けて報告していますが、いやされた人たちは、実は当時の社会では重要視されなかった人たちです。「重い皮膚病」(2)はうつるだけでなく宗教的にも汚れていると思われており、「百人隊長」(5)は自分たちを支配する者に仕える異邦人で嫌がられ、「ペトロのしゅうとめ」(14)は当時の男尊社会では低く見られていた女性でした。イエス様がいやされた相手がこのような人々であったこと、それが当時の人々にとって驚きであり、今の私たちも魅かれる理由なのです。

②言葉で奇跡を起こされたイエス様。それは「光あれ」と言われたら光があった神様の創造(創世記1章3節)を思い出させる出来事。

マタイは、「イエスは言葉で悪霊を追い出し、病人を皆いやされた」と記しています。私はここを読むと、聖書の一番最初で神様が世界を造られる場面、「神は言われた。『光あれ』。こうして光があった。」(創世記1章3節)を思い出します。無から有を創造される神様を表わしています。聖書は、「この創造主なる神様が、イエス様を通して、私たちにまた愛に満ちた新しい創造行為をなして下さったのだ」、と語りかけているのです。私たちがイエス様に魅かれる一番深い理由はこのことから来ているのです。私たちが愛してやまない神様がおられることを知らされて行く時に、私たちの人生の見方も変わって行きます。人生はこの神様と共に生きていくものなのだ、そうしたら何も怖いものはないのだ、と。

③私自身がではなく、イエス様が、私から弱さを取り去って下さる！

「彼は私たちの患いを負い、私たちの病を担った」(17)は直訳すると、「彼が、私たちから弱さを取り去り、病を運び去った」です。「彼が」が強調されています。彼、すなわち、イエス・キリストが大事なのです！ 私たち自身が強くなって、自分の力で弱さ、病、問題を取り去りなさいと言われていたのではないのです。イエス様が私たちの弱さ、病、問題、苦しみ、それら全てを取り去り、運び去って下さるのです！ イエス様は、そのような力、権能をお持ちの方なのです！